

令和2年6月1日

## 生徒指導通信 No.6

水無月に入りました、みなさん読めますか。『みなづき』とよみます、疑問を持ちませんか。6月は梅雨入りの時期だから言うなら『水有月』だろうと。梅雨で水はあるのですが、昔は田植えの時期の水張りに使われていたようです。田んぼに水を使うので生活する水が不足しがちになったのですね。だから生活に使う『水無月』、由来は昔の生活の名残なのです。

先週後半は、各学年の学年集会がありました。お互いの距離は、ソーシャルディスタンスをたもったままですが、はじめて学級、学年が集まることができました。各学年で『学校が始まってから不安に思うこと、楽しみなこと』のアンケートを登校日に取りましたね。その中で『楽しみなこと』で一番多かったのが『友達と会って話できる』というコメントでした。オンラインでの授業や授業動画配信での勉強はできると思いますが、やはり、お互いに会ってこそ、本当の意味で人間関係が生まれ、互いに成長できるのだと考えます。それが、学校の大きな役割であることを今回の状況を体験して、みなさんも、先生たちも感じたのではないのでしょうか。

今週から、もう少しステップアップして、登校日や授業時間も増えていきます。しっかりと『疲れ』ましょう。そして夜にぐっすり眠りましょう。自然と生活リズムが整っていくはずですよ。生活リズムが整ってくると、身体の体力、心の気力も回復してきて、通常通りの授業が再開されてもスムーズに学校生活が送れるはずですよ、これは先生たちにも言えることですよ。三中のみならず、以前にも増して、人間関係によって成長できる学校にしたいですね。

### 【前回の問題の答え】

『うとうとひるねしたい』 でした。

※ちなみに丸山校長先生は正解して大喜びでした！

解説…左の番号は読む順番、右の番号は『干支』の何文字目を読むか(例 未1⇒ひ)を表していました。